

議事録

会議名	令和5年度第4回運営推進会議																																																
開催日	平成35年11月15日																																																
開催時間	9:30～11:30																																																
開催場所	西京ふれあい地域福祉センター 2階 地域交流室																																																
出席者																																																	
運営推進委員	小石 敦子様 (榎原学区社会福祉協議会 会長) 中路 和美様 (榎原学区民生児童委員協議会 副会長) 櫻井 孝洋様 (西京区社会福祉協議会 統括地域福祉コーディネーター) 駒井 一美様 (高齢サポート西京南部 社会福祉士) 藤田 知子様 (アサヒケアサービス株式会社 社長)																																																
入居者代表	A様 (グループホームかたぎはら)																																																
職員	柿迫 稔夫 (小規模多機能かたぎはら・グループホームかたぎはら施設長) 岩崎 由香里 (小規模多機能かたぎはら・グループホームかたぎはら副施設長)																																																
議題																																																	
利用状況報告	利用状況報告 R5.10月末現在 【小規模多機能かたぎはら】 9月実績 登録19名 実利用19名 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 5px;"> <tr> <th>介護度</th> <th>申請中</th> <th>介護1</th> <th>介護2</th> <th>介護3</th> <th>介護4</th> <th>介護5</th> </tr> <tr> <td>男性</td> <td>0名</td> <td>0名</td> <td>2名</td> <td>3名</td> <td>0名</td> <td>0名</td> </tr> <tr> <td>女性</td> <td>1名</td> <td>1名</td> <td>6名</td> <td>3名</td> <td>3名</td> <td>0名</td> </tr> </table> 利用回数 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 5px;"> <tr> <td>訪問 601回</td> <td>通い:延べ 361回</td> <td>泊り:延べ 88回</td> </tr> </table> 10月実績 登録 21名 実利用21名 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 5px;"> <tr> <th>介護度</th> <th>申請中</th> <th>介護1</th> <th>介護2</th> <th>介護3</th> <th>介護4</th> <th>介護5</th> </tr> <tr> <td>男性</td> <td>0名</td> <td>0名</td> <td>2名</td> <td>3名</td> <td>1名</td> <td>0名</td> </tr> <tr> <td>女性</td> <td>0名</td> <td>1名</td> <td>8名</td> <td>3名</td> <td>3名</td> <td>0名</td> </tr> </table> 利用回数 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 5px;"> <tr> <td>訪問:延べ 598回</td> <td>通い:延べ 396回</td> <td>泊り:延べ 111回</td> </tr> </table> 連泊者 1名 (認知症の進行により、在宅での独居生活が難しく、GH入所までの待機) →承認いただいた 過少サービス(週4回未満の利用者) なし	介護度	申請中	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	男性	0名	0名	2名	3名	0名	0名	女性	1名	1名	6名	3名	3名	0名	訪問 601回	通い:延べ 361回	泊り:延べ 88回	介護度	申請中	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	男性	0名	0名	2名	3名	1名	0名	女性	0名	1名	8名	3名	3名	0名	訪問:延べ 598回	通い:延べ 396回	泊り:延べ 111回
介護度	申請中	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5																																											
男性	0名	0名	2名	3名	0名	0名																																											
女性	1名	1名	6名	3名	3名	0名																																											
訪問 601回	通い:延べ 361回	泊り:延べ 88回																																															
介護度	申請中	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5																																											
男性	0名	0名	2名	3名	1名	0名																																											
女性	0名	1名	8名	3名	3名	0名																																											
訪問:延べ 598回	通い:延べ 396回	泊り:延べ 111回																																															

【グループホームかたぎはら】 R5.11月1日現在

入居者数 17名(男性2名・女性15名)

介護度	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
男性	0名	0名	0名	1名	1名	0名
女性	0名	6名	2名	5名	2名	0名

11月1日 女性入所

活動報告 R5.9-10月 別紙参照(広報誌参照)

【小規模】

- ① 敬老会・誕生日会
- ② 藤袴祭り
- ③ お月見法話
- ④ かたピー誕生日会
- ⑤ 運動会
- ⑥ どんぐりプロジェクト
- ⑦ 異業種連携(ミートショップ ヒロ)

【GH】

- ① 京都中央看護保健大学校認知症サポーター講座
- ② 敬老会
- ③ 藤袴祭り
- ④ お月見法話
- ⑤ かたピー誕生日会
- ⑥ 運動会
- ⑦ どんぐりプロジェクト
- ⑧ 異業種連携(ミートショップ ヒロ)

→広報誌,プロジェクトターを利用しご説明させていただいた。

GH入居者A様の紹介をさせてもらう。委員の皆さまもご挨拶いただいた。

→入居者A様用にスライドを用意しグループホームでの活動や生活にご意見を頂いた。

・困っていることはありません

・この写真(スライド)は私ですね。楽しそうです

・困ったらだれに相談したらいいのですか(いつでも職員に伝えて下さいと答える)

事故・ヒヤリ・苦情報告

【小規模多機能かたぎはら】

	事故	ヒヤリ	苦情
9月	0件	0件	0件
10月	3件	2件	0件

【事故】負傷出血1件 食事関連1件 電話確認漏れ1件

【ヒヤリ】服薬関連1件 物品紛失関連1件

【苦情】なし

活動報告

事故報告

【グループホームかたぎはら】

	事故	ヒヤリ	苦情
9月	6件	2件	0件
10月	7件	1件	0件

【事故】転倒・転落6件 服薬関連1件 負傷・出血1件 原因不明の内出血5件

【ヒヤリ】転倒予防3件 食事に関する事1件(異食)

【苦情】なし

委員会活動

身体拘束適正化委員会

「身体拘束適正化のための指針」を見直し改定した物を配布し変更点を説明する

→承認していただく。

虐待防止委員会

「高齢者虐待防止のための指針」を配布説明する。

→承認していただく。

その他

地域交流、内部研修、京都オレンジ色プロジェクト等について別紙で説明させて頂いた

1 看取り 内部研修(報告)

2 認知症 内部研修(報告)

3 認知症サポーター養成講座(京都中央看護保健大学校)(よもぎ倶楽部)

4 大原野藤袴祭り(よもぎ石鱈の作成)

5 お月見法話

6 異業種連携(ミートショップ ヒロ)

7 どんぐりプロジェクト

8 開所5周年 秋のふれあい祭り(号外あり)

→日々の業務に追われる中、その時の情勢に合わせて、地域との関わりを継続されている体制も厳しいなかよく頑張っておられるとお声掛けいただく。

→地域行事のお誘いがある「かたぎはらフェスタ」「ふれあい動物園」

ポスターをいただく

→自宅の木になっている柚子があるのでよかつたら取りにおいでとお誘いを受ける

○ 職員負担の軽減や、利用者対応の向上のために訪問看護と契約したことを報告する

→夜間職員一人で勤務をするが、電話での連絡相談などもでき負担感の軽減につながるのではないかとご意見をいただく。